

KAKEGAWA

かけがわ 第28号

# 市議会 だより

平成22年11月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



掛川祭(二瀬川区)

おもな内容 ——— CONTENTS

- 決算と補正予算 2 ページ
- 議案の審議結果 5 ページ
- 一般質問 6 ページ
- 各委員会の現状と課題 10 ページ
- 重要課題その後 11 ページ
- 傍聴席/12月定例会の予定 12 ページ

平成21年度決算

# 厳しさの中でも 健全財政を目指す財政運営

税収は前年度対比で23億600万円減収

平成21年度一般会計

歳入決算額	440億5,515万円
歳出決算額	423億 573万円
歳入歳出差引額	17億4,942万円
実質収支	15億2,574万円
単年度収支	4億8,651万円
実質単年度収支	2億8,471万円

実質単年度収支とは

単年度収支+財政調整基金繰入金+地方債繰上げ償還金-財政調整基金取り崩し額

家庭でいえば余裕のある月は貯蓄したり、ローンの繰上げ返済をしますが、逆に苦しい月は貯蓄をおろしたりします。単純に収入と支出のバランスがどうなっているかを考えるものです。

平成21年度決算概要

歳入額440億円、歳出額423億円は前年より財政規模が拡大していますが、この主な理由は国から市に支出され市民の皆さんに給付された定額給付金支給でありました。

歳入面では、法人市民税など市税が大幅に減少し、これを補うため市債や減収補てん債などにより対処いたしました。また、国の経済対策に伴い、国県支出金の確保に努めました。

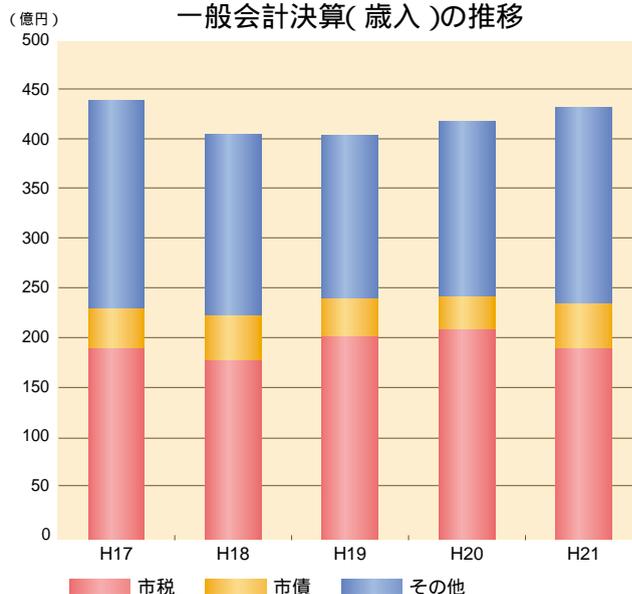
歳出面で、消費的経費は前年より13%増加しましたが、これは定額給付金や法人税の還付などによるものであり、投資的経費につきましては前年より約11%減少するなど、大変厳しい財政状況となりました。

歳入構造

自主財源	266億円 (前年対比-32億円)
依存財源	174億円 (前年対比+47億円)
財政力指数(単年度)	0.992 (前年対比-0.066)
実質公債費比率	16.0 (前年度対比-0.7)
将来負担比率	130.3 (前年度対比-2.4)

今後、大幅な税収増が見込めないなか、経費の節減や業務の評価と見直しを行い最小限の費用で最大限の効果が得られる効率的運営が必要です。

一般会計決算(歳入)の推移



※法人市民税など市税が大幅に減少し、これを補うため市債や減収補てん債などにより対処いたしました。

# 決算特別委員会委員長報告

平成21年度決算議案は、一般会計と特別会計の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般会計は、9月16日～17日の2日間、特別会計は、9月16日に開催され、

審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。

また、9月29日の本会議において、両特別委員会の審査経過及び審査結果が委員長より報告されました。

## 一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

**Q** 健全財政に向け債務総額をどのように返済していくのか。

**A** 毎年10億円ずつ10年間で100億円減らしていく計画だが、大型投資も控えている。節約をしながら健全財政維持に努めたい。

**Q** 実質公債費比率が近隣3市とも県内ワースト3にあるが、その要因は。

**A** 当市周辺地域は、水資源が乏しく大井川に依存している。水資源供給のため、過去に多額な起債をしてきたことが主な要因。

**Q** 滞納整理機構に徴収委託をしたが、その成果は。

**A** 税の公平性を期すため、収納率向上に向け効果は上がっている。

**Q** 地域環境整備費3億円は、行政需要から比較して少くないか。

**A** 行政区の大小により相違もあるので、研究していきたい。

**Q** ごみの分別や廃品回収に市民が協力しているが、その成果は。

**A** 資源化物の売却収入も大きい。焼却物の埋め立て量が減り効果は大きい。

**Q** 戸籍の問題で高齢者の所在不明が問題となっているが。

**A** 戸籍上に120歳以上が60人いる。日常の行政事務には支障はないが、早期に解決したい。

**Q** 有害鳥獣被害の状況と駆除対策について。

**A** 近々、中山間地域を考える会が発足するので、その中で検討していく。

**Q** バス路線対策について。

**A** 公共交通あり方検討委員会で検討中だが、さらに地域協議会を組織して検討していく。

**Q** 幼稚園への就園が少ない一方、保育園は満杯で、さらに希望者が増える傾向にあるが、今後の対応は。

**A** 南部地区の乳幼児を対象にあり方検討委員会で議論している。

## 特別会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

### 国民健康保険特別会計

**Q** 医療費抑制、税の収納率向上についての対応は。また、収納率は県下で何番目か。

**A** 保険証発送時に、国保事業が厳しいことや、医療費一人当たりの単価が毎年度上がっていることを知らせ理解を求めている。また、今年度から税務課内に収納対策室を設置し、収納率向上に努力している。現年度分収納率は89.79%で県下23市の中で4番目である。

### 介護保険特別会計

**Q** 事業計画と比べて、保険給付の状況はどうか。

**A** おおむね計画に近い決算となったが、年々対象人口が増えていることから、給付費は上がっている傾向にある。

### 掛川駅周辺施設管理特別会計

**Q** 駐車場利用15分以内無料に伴う影響は。また、駐車場利用台数に対し、使用料金減の要因は。

**A** これまで短時間利用者は少なく、無料化導入後長時間利用者の阻害要因はない。また、利用台数が増えても長時間利用者が減少し、相対的に使用料金減となった。

### 農業集落排水事業特別会計

**Q** 使用開始から数年経過しても、接続率が伸びない要因は。

**A** 設置を希望し公共マスを入れたが、その後計画変更されたケース等がある。土方地区では、最近でも接続の申請があるので伸びると思う。

### 温泉事業特別会計

**Q** 利用料金改定に伴う利用者の増減はあったか。

**A** 利用者は、20年度が23万9,396人、21年度が24万5,585人で前年度対比6,189人が増加している。



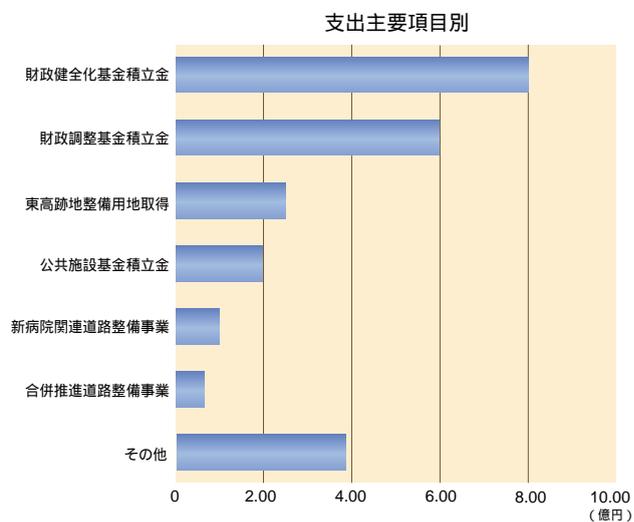
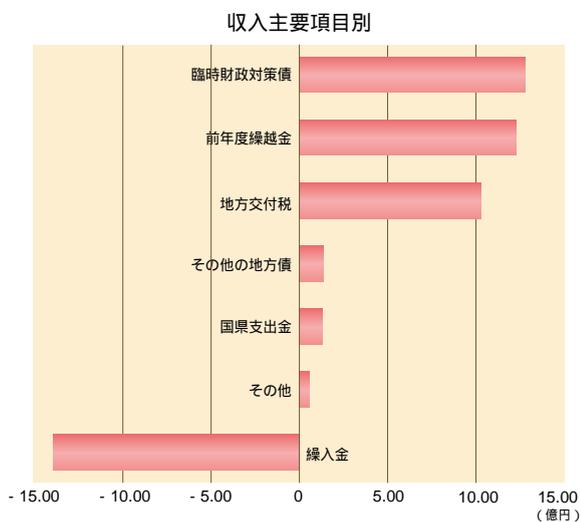
平成22年度9月 一般会計補正予算の概要

「24億3,200万円」  
9月補正予算は基金への積立が優先になりました



一般会計補正予算の特徴

地方交付税、繰越金の増額が見込まれたこと、臨時財政対策債の借入可能額が増加したことで、大幅な補正予算となりました。この貴重な財源は、今後の中長期に健全財政運営を確保するため、補正予算額の65.79%を基金積立金としました。



歳入

臨時財政対策債	12億4,200万円
前年度繰越金	12億2,574万円
地方交付税	10億4,200万円
その他の地方債	1億4,460万円
国県支出金	1億870万円
その他	7,412万円
繰入金(減)	14億509万円

歳出

財政健全化基金積立金	8億円
財政調整基金積立金	6億円
東高跡地整備用地取得	2億7,181万円
公共施設基金積立金	2億円
新病院関連道路整備事業	9,150万円
合併推進道路整備事業	7,240万円
その他	3億9,636万円

財政調整基金など3つの基金は、現病院閉院時の債務の精算、財団法人掛川市開発公社解散に向けた精算などに対応するために積立をするものです。

臨時財政対策債は元利返済の100%が交付税で措置される起債です。

本年度末の起債残高は増額となりますが、中長期の将来を見据えた健全財政のための措置であります。

## 景観条例制定について

掛川市景観条例は、景観法及び掛川市景観計画の施行に関し必要な事項を定めることを目的に制定されました。

良好な景観を形成するために、一定規模以上の建築行為等に届出を義務化し、景観形成基準を規定しました。届出対象として、建築物、工作物、開発行為、土石の採取を規定しています。

建築物については、高さ：市街地は15m以上、周辺地域は10m以上、延床面積：1,000㎡以上が届出の対象です。

建築・工作物の景観形成基準として、市内全域で外観の色彩について制限されます。城下町風街づくり地区計画区域内では、掛川城の高さを超えない高さ：標高72mの制限もあります。

景観計画は、5つの基本理念を掲げています。

- ①長期的視野のもと段階的かつ継続的に推進する。
- ②掛川市の原風景の保全に努め、次世代に継承する。
- ③掛川市の個性と魅力を高めていくこと。
- ④人が活動する様子を景観の重要な要素として捉えていくこと。
- ⑤景観形成は、市民、事業者、市が協働により推進していくこと。

この条例の制定によって、地域資源を生かした個性的で魅力あるまちづくりが期待されます。

## 9月定例会における議案の審議結果一覧

### ◆全会一致可決・認定・受理・同意

- 平成22年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について
- 平成22年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成22年度掛川市老人保健特別会計補正予算(第1号)について
- 平成22年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成22年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成22年度掛川市温泉事業特別会計補正予算(第1号)について
- 掛川駅木造駅舎整備基金条例の制定について
- 掛川市景観条例の制定について
- 掛川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正について
- 掛川市教育センター条例の一部改正について
- 掛川市手数料条例の一部改正について
- 掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 消防ポンプ自動車購入契約の締結について
- 大型水槽付き消防ポンプ自動車購入契約の締結について
- 掛川市道路線の廃止について
- 掛川市道路線の認定について
- 掛川市道路線の変更について
- 平成21年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 健全化判断比率の報告について
- 掛川市簡易水道特別会計資金不足比率の報告について
- 掛川市公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について

- 掛川市農業集落排水事業特別会計資金不足比率の報告について
- 掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計資金不足比率の報告について
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 「交通基本法」の理念に基づく鉄道分野への予算配分と政策推進を求める意見書」の提出について

### ◆賛成多数認定

- 平成21年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度掛川市温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について

### ◆不採択

- 住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める意見書提出に関わる陳情

# 一般質問 Q&A

## 行財政運営及び行財政改革方針は

山崎恒男（創世会）

**Q** 「歳出削減の見直し」の改革では職員定数の削減計画が示されている。新市発足以降すでに九六名の職員が減員された。今後、増員が予想される部署もあると言われるが、三二名の削減計画は、市民サービスの低下を招く恐れはないか。

**A** 昨年度末から導入した職務挑戦制度の効果的な運用や能力向上のための研修等の充実、専門性を高める職員の育成、効率的な業務が行える組織編成、職員の資質を生かした適材適所の配置などを行い対応していく。

**効率的、効果的で生産性の高い行政経営を行っていく**

**「地域包括ケアシステム」の本市の対応は**

**Q** 高齢者等の寝たきり防止を図るため、リハビリの充実が必要である。隣接市町の病院間の連携により利便性は向上した。通院が困難の方、医療保険対象の方々の対

応策をどう考えているか。

**専門職員の確保を検討していただく働きかけをしていく**

**A** 医療保険の場合は、患者さんの病状等を考慮しながら、医師の診療に基づき、医学療法士、作業療法士または言語聴覚士が訪問して、療養上必要な指導を行う。しかしながら、介護保険優先の原則や専門スタッフの不足により、余り利用されていないため、増員の働きかけをする。

**「他の質問事項」指定期間満了施設の指定管理者決定方針は**



10月1日にオープンした東部地域健康医療支援センター「ふくしあ」

## 都市計画税見直し有識者会議 三橋座長の発言への見解は

柴田正美（共産党掛川市議員団）

**Q** 三橋静大名誉教授の発言「辺地三地区という形式的な基準を当てはめる市長の提案は妥当でない」「受益がない所が他にもないか引き続き検討が必要」をどう受け止めるか。

**A** 庁内で十分検討した後、有識者会議の意見を含めた見直し案について、議会にお諮りしていきたい。

**答申を踏まえ庁内の見直し検討委員会で検討している**

**「協力金一切禁止」は無視されるのか**

**Q** ①三〇分団中、二三分団が地域から受け取る消防団特別協力金について市長の見解は。

②消防組織法第七条は市長の管理を規定し、消防団長通達は「消防団員の誇りと信望」を損なうとし、該当年齢協力金を

一切禁止している。市長の見解は。

**行政としては関与すべきでない領域**

**A** ①地域ごとの考えに基づき、判断され実施されており、把握することはできかねる。

②運営交付金の額が適当かどうか調査、検討し、必要があれば見直しを図る。

**「他の質問事項」熱中症対策など生活弱者対策は、高齢者世帯へ家庭ごみ戸別収集は**



市の見直し案で辺地と同様とされている（市の東部地区）

# 一般質問

# Q&A

## 中央消防署の建てかえ時期・移転先・体制や北部分遣所設置は

英原通泰（創世会）



掛川市中央消防署

**Q** 中東遠圏域の消防広域運営の方針も一指令二本部で決まった。これから当市の消防機能の強化充実のため、老朽化した本署の建てかえ時期、移転先、要員、そして北部方面の分遣所設置の方針を伺う。

**現在の中央消防署付近が適地だが、慎重に検討する**

**A** 建てかえ時期は、財政計画の中でおおむね二十七年前後を考えている。建設候補地については、西分署との位置関係や中心市街地を

カバーできることを考慮し、慎重に検討する。あわせて消防の空白域への対応についても検討を進めていく。

**掛川版「避難所運営コーディネーター」の人材養成は**

**Q** 大規模災害に備え各地域で避難所運営マニュアルを作成し、自主的、主体的に運営することとなる。このマニュアルを運営するコーディネーターを養成する考えがあるか伺う。

**コーディネーター養成講座の開催を検討する**

**A** それぞれの地区の中からの人材を確保し、避難所運営がスムーズに進むよう考えていきたい。



## お茶のまち掛川・駅でお茶の香りは出せないか

鈴木正治（誠和会）



お茶の香りを

**Q** 味と香りが自慢の掛川茶。掛川駅に降りても茶産地としての印象はない。お茶のまちのイメージ戦略として掛川駅でお茶の香りを漂わせてはどうか。

**茶香炉を設置する検討を進めていく**

**A** 香炉には電気を使ったものもあるので、安全面、経費面、維持管理面等を調査し、駅構内の観光案内処やこれっしか処で対応できないか検討を進めていく。

**大池公園の整備計画は**

**Q** 大池公園の整備計画が平成十九年にまとめられ、二十二年には事業認可の計画となっている。

二十二世紀の丘公園の事業もほぼめどが立ったので、今後の実施計画について伺う。

**現在の財政状況では推進することが困難**

**A** 事業については、今後、優先順位を検討し順次計画的に進めることが必要だと考えている。財政状況との整合が必要不可欠であり、景気動向及び財政状況が好転しない現段階での計画策定は見合わせざるを得ない。



# 一般質問 Q&A

## 子宮頸がんワクチン接種の実施は

山本行男（公明党かけがわ）

**Q** 子宮頸がんワクチン接種は、がんの中で唯一予防できると言われているが、接種費用が高額で多くの自治体が公費助成をしている。国も二十三年度概算要求で百五十億円盛り込んだ。掛川市も二十三年度実施するか伺う。

**実施する方向で検討を進める**

**A** 国や県、近隣市の動向を見ながら、医師会等と連携し、助成内容や対象者について検討を進めていく。

## 東海地震と原子力防災対策は

川瀬守弘（共産党掛川市議員団）

**Q** 東海地震について国と地方行政は防災対策、防災訓練を実施している。しかし、東海地震と浜岡原発の事故が同時に起こる「原発震災」対策は盲点ではないか。今、東海地震と浜岡原発の安全性を考える「東海地震講演会」を開催する必要があると考えられているか。

**講演会は必要と考えている**

**A** 国の合同ワーキンググループの審議内容を注視し、事業者だけでなく国からの説明も求めていき、御理解

**消防力強化は、地域の防災力にとって不可欠では**

**Q** 職員不足が常態化している。車両、要員、消防水利の充足率はどうか。「消防広域化」の中で市民の安心安全をどう担っていくのか。

**広域化によって消防力の強化や予防体制の充実を図る**

**A** 広域化によって、大きな災害への対応力が強化できることや、現場到着時間の短縮、通信部門や管理部門の統合が図られ、署所への人員配置が可能となり、より高度な消防サービスを提供できると考えている。なお、消防水利については計画的に整備していく。



市内の災害現場



【他の質問事項】うつ病対策について



浜岡原発

【他の質問事項】地域医療・救急医療体制の充実、市立総合病院の充実

# 一般質問 Q&A

## 重症心身障害児・者(重症児・者)の 支援策を伺う

中上禮一(みどりの会)

**Q** 掛川市には、現在重症児・者が五〇人いる。特別支援学校高等部卒業後の受入施設がなく、在宅ケアなど厳しい生活を余儀なくされている。受入施設建設の見通し、ショートステイ受入先の確保は。

**規模・経営形態・建設地等を検討している**

**A** 介護されている保護者の方の負担軽減や、安心して在宅で生活していくためにも、東遠地域にショートステイのできる施設が必要と考えている。現在、行政と東遠地区自立支援協議会が検討している。

## 城下町風街づくり 構想について伺う

**Q** 城下町の玄関としての木造駅舎、駅前再開発ビルをどのように生かそうとしているのか。また、城下町とお茶が街づくりのコンセプトになると思うが、その取り組みは。

城下町の玄関としての木造駅舎、駅前再開発ビルをどのように生かそうとしているのか。また、城下町とお茶が街づくりのコンセプトになると思うが、その取り組みは。

**これまでにない、新しい対流を生み出すことが肝要**

**A** 新幹線駅の中で、唯一の木造駅舎であるという希少価値、市のシンボルやランドマークとしての価値、歴史的建造物としての価値があり、大きな役割を果たしている。再開発ビルもできる限り木の文化が感じられるような装いにすべきと考えている。

お茶の新商品開発を目指し、掛川茶ブランド委員会を立ち上げ活動している。また、掛川スタディの成果との協調、市民・企業の方々によるお茶を使った菓子や料理などの観光・商品開発にも期待する。



重症児・者親の会「パsson」のバザー風景

## 市民の安全・安心はどのようにして 守られているか

大庭博雄(誠和会)

**Q** 最近、不審者が出没し、子供や女性に怖い思いをさせたり、不審火災が連続して発生し、市民の安全・安心が脅かされることがたびたびある。どのような対策がとられているか伺う。

**学校・教育委員会・警察・地域との連携を密にし安全対策に努める**

**A** ホームページ等での不審者情報の配信や、青色回転等パトロールの重点実施、夜間消防隊による防火パトロールを実施している。また、子供の安全確保のため、「学区における通学安全マップ」を作成し、子供に指導している。

あるが所見を伺う。

**「協働によるまちづくり」の考え方を基本に進める**

**A** 今年度、周辺住民の皆様にもまちづくりに関する意向調査とワークショップを実施し、御意見を伺う。そして、まちづくりの方策を検討し、社会経済、市の財政状況などを考慮したまちづくりを進めていく必要があると考えている。

「他の質問事項」日本一のまちづくりについて

## 新病院周辺のまちづくりは

**Q** 新病院の周辺のまちづくりを進めるために、市はどのような計画をしているか。また、企業向けの用地の周辺は、病院・学校・住宅である。進出事業所による環境変化には十分過ぎるほど注意して、生活環境を守る必要が

新病院の周辺のまちづくりを進めるために、市はどのような計画をしているか。また、企業向けの用地の周辺は、病院・学校・住宅である。進出事業所による環境変化には十分過ぎるほど注意して、生活環境を守る必要が



新病院建設用地、大型重機が入り造成工事本格化(下俣・長谷地区)

# 各常任委員会の現状と課題

## 総務委員会

委員長 豊田勝義

### 市民協働による効率的行政運営を

近年、景気の低迷により、掛川市も影響を受け、税収が大幅に減少するなど厳しい財政運営を強いられている。

一方で新病院建設、駅前東街区再開発事業、南北幹線道路をはじめ道路整備など、財政需要を必要とする事業が多数ある。限られた財源を有効・効果的に活用するため、行政改革や市民との協働による簡素で効率的な行政運営が求められている。

税収面では新病院建設に伴い進められている旧ゴルフ場跡地の造成地には一社の企業進出が決まり、今後の企業進出も期待されることである。また新エコポリスも年内に造成工事が完了するので、企業誘致を早期に実現させる必要があり、財政力の強化や雇用の拡大も大いに期待するところである。

姉妹都市・友好都市との交流は岩手県奥州市、海外では生涯学習で長年育んできた韓国・横城郡、

以前からの米国・ユージン市、コーニン市、グ市など、市民レベルでの活発な交流により元気なまち掛川に期待したい。



総務委員会による市内視察状況

## 環境産業委員会

委員長 水野 薫

### 「選択と集中」から「成長戦略」へ

本年度より、経済建設部門に環境が加わり所管事項が多岐に渡ることになった。今日、環境問題を除いて産業や建設部門を論ずることとは出来ない時代となった。

さて、いまだに景気は踊り場状態と認識せざるを得ず、経済は依然として低迷状況という閉塞感に覆われている。本市においても基幹産業である農業・工業・商業共に難題が山積しており、雇用や生活に直接関係することなので、危機感を持って議論しているところである。

また、建設部門においても現在の財政状況を鑑みる時、新病院の建設、南北幹線道路があり、市民の皆様の要望事項に十分にこたえることが難しく、限られた予算をどのように有効に使うかが求められている。

いずれにしても当委員会に課せられた問題は多大でありかつ多岐に渡っているが、委員全員一丸となって掛川市としての成長戦略を検討しているところである。



掛川市景観条例により期待されるまちづくり

## 文教厚生委員会

委員長 高木敏男

### 地域健康医療支援センター「東部ふくしあ」

十月一日に開所した掛川市初めての支援センターは、多くの期待の中で一カ月が経過、日々の評価と課題を歩きながら解決する努力を重ねている。公平性の観点からも、今後他の地域に予定されている四カ所程度の支援センターの早期設置が望まれる。

在宅看護、在宅介護が充実したものとなるよう、市民と共に成長していきたい。

### 重度心身障害児(者)の通所施設建設へ向けて

現在「東遠地域自立支援協議会」で取り上げ、平成二十四年度からの障害福祉計画に盛り込むよう努力している。特別支援学校高等部を卒業した後、日中活動の場がないという状況は避けなくてはならないので、早期にどこへ、どのような経営形態で、どのくらいの費用が必要かなど具体的に検討し、家族の不安解消へこたえていきたいものである。



特別支援学校建設予定地（市立病院駐車場）

# 重要課題その後

## 新病院建設

### ～全国初の市立病院同士の統合スタート～

「新しい病院を掛川市と袋井市でつくることを検討する」との方針は、平成19年8月、両市議会の下承を得て両市で同時に発表された。これは、産婦人科の休診で問題化してきた医師不足を解消し地域医療の安心・安全を守ることと、財政上のメリットからだった。

これに先立ち、掛川市議会では18年度の「広域行政問題特別委員会」で調査・研究され、新しい病院は近隣自治体病院との統合新設、が方向付けられていた。そして、統合する病院として、病院の規模・医師派遣をしている大学・建てかえ時期等が近似している袋井市民病院が検討されることになった。さらに、19年12月から1年間、「掛川市・袋井市新病院建設協議会」が設置され、佐古会長の叡知あるリーダーシップの下、新病院の基本構想が作られた。これを基に両市議会は重要事項について議論し市の意志を明確にする

ため、それぞれ特別委員会を設置し新病院建設に向かって取り組んでいる。

そして、21年度には基本計画が策定され、建設場所である掛川市下俣・長谷で6月24日造成工事の安全祈願祭が行われ、24年度末開院に向けて、建設が始まった。この建設計画は、すべてスムーズということではなく特に建設場所の決定・費用分担割合については、白紙撤回も心配された程、両市の主張の食い違いがあった。安全祈願祭にこぎつけたことは感無量である。

新病院建設に関する今後の課題は多く、また、重い。例えば、現在ある病院跡地・施設をどうするか、二次医療機能として位置付けられた新病院の後方支援体制は大丈夫か、アクセス道路の整備・隣接の事業用地の活用・近隣地区の開発等が市議会の一般質問等で熱い議論がされている。



掛川市立総合病院



袋井市民病院



新病院完成予想図

# 議会 日誌



## 7月

- 20日 ● 産業振興特別委員会
- 21日 ● 市議会全員協議会  
● 文教厚生委員会
- 26日 ● 議会改革検討特別委員会  
● 産業振興特別委員会
- 28日～30日  
● 環境産業委員会行政視察  
(名護市、うるま市)

## 8月

- 3日 ● 東遠学園組合議会
- 5日～6日  
● 議員東京研修
- 9日～11日  
● 文教厚生委員会行政視察

- (福岡県、福岡市、尾道市)
- 11日 ● 環境産業委員会協議会
  - 12日 ● 東遠工業用水道企業団議会  
● 東遠広域施設組合議会
  - 16日 ● 掛川市・菊川市衛生施設組合議会  
● 総務委員会協議会
  - 17日 ● 小笠老人ホーム施設組合議会  
● 新病院建設・地域医療対策特別委員会
  - 18日 ● 静岡県市町議会議員研修会
  - 20日 ● 市議会全員協議会  
● 産業振興特別委員会
  - 23日 ● 東遠地区聖苑組合議会
  - 25日 ● 掛川市・袋井市新病院建設事務組合議会
  - 26日 ● 議会運営委員会  
● 議員懇談会
  - 30日～31日  
● 議会だより編集特別委員会行政視察(池田市、幸田町)

## 9月

- 2日～29日  
● 掛川市議会第4回(9月)定例会
- 2日 ● 産業振興特別委員会
- 6日 ● 議会改革検討特別委員会
- 7日 ● 議会だより編集特別委員会
- 9日 ● 議会運営委員会
- 13日 ● 総務委員会協議会  
● 環境産業委員会協議会  
● 文教厚生委員会協議会
- 22日 ● 議会だより編集特別委員会

## 10月

- 5日～7日  
● 総務委員会行政視察  
(深川市、留萌市、稚内市)
- 12日 ● 議会だより編集特別委員会

## 12月定例会の予定

- 1日 本会議 (議案の提案説明)
- 9日 本会議 (一般質問)
- 10日 本会議 (一般質問)
- 13日 本会議 (議案質疑、委員会付託)・  
常任委員会
- 16日 常任委員会協議会
- 24日 本会議  
(委員長報告、質疑、討論、採決)

## 編集後記

記録的な猛暑で、長かった夏も終わり、過ごしよい晩秋の季節になりました。それにしても、地球温暖化の現象は、さまざま異常気象をもたらし、集中豪雨等、自然災害が憂慮されます。改めて環境保全への取り組みの必要を感じます。

今回は九月定例会の内容を盛り込み編集しました。平成二十一年度決算内容は、厳しい時代の中でしたが、将来の健全財政を考慮しての運営でした。したがって九月補正予算も、将来負担に備えての編成となりましたことを申し上げます。

皆さん、しばししのぎよい晩秋の季節を満喫され、ご健勝にてお過ごしください。

議会だより編集特別委員会  
副委員長 鈴木久男

今年は、三月、九月の市議会定例会の一般質問を傍聴させていただきました。質問は三十分間と限られた時間内で質疑がなされているのですが、以前、市議会だよりの傍聴席欄に現行の一括方式から一問一答方式への提案がありました。一問一答方式の方が初めての傍聴者にはわかりやすく理解できると私も思います。

何回か傍聴経験してきますと、一括方式では物足りなさを感じます。市民の想いを市政にぶつけるにはもっと白熱したやりとりがあっても良いのでは？ 私達を選んだ議員の皆さんが、今、またこれからの掛川市をムダのない、より良い市政を実現させるためにも、感情を高ぶらせない程度のやりとりが傍聴席に響いてくるような、そして市民のためにすばらしい議会運営となりますことを期待しています。

桜木地区 神崎吾朗

## 傍聴席

